

当施設における個人情報の漏えい等について

吉備高原医療リハビリテーションセンターでは、令和8年8月24日に下記のとおり個人情報の漏えい事案が発生いたしました。

関係するすべての皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今回の事態を重く受け止め、個人情報の管理につきましては、職員に対する教育及び指導を徹底するとともに、全部署における漏えい防止対策を再点検し、再発防止に努めてまいります。

令和8年10月9日

独立行政法人労働者健康安全機構

吉備高原医療リハビリテーションセンター

院長 古澤 一成

記

1 概要

患者様Aの診察を終えた医師が、予約票等を重複して印刷してしまっていることに気付かず、続いて診察を終えた他の患者様Bに対し、本人の予約票等のほかに、余分に印刷されプリンターに残っていた前の患者様Aの予約票等も一緒にお渡ししてしまいました。

患者様Bが計算窓口に予約票等の入ったファイルをお持ちになり、計算窓口の職員が患者様Aの書類が入っていることに気付き、個人情報の漏えいが発覚しました。

2 漏えいした個人情報の内容

患者様1名の氏名、生年月日、年齢、性別及び診察予定

3 発生原因

- ① プリンターで印刷した書類について、1枚ずつ内容を確認せずファイルに入れたこと
- ② 患者様に予約票等を渡す際に、手順書に従って2名で内容を1枚ずつ確認していなかったこと

4 再発防止策

- ① 手順書に「ファイルへ書類を入れる際は、内容を1枚ずつ確認する。」を追加しました。
- ② 手順書を遵守することについて、職員全員に改めて周知しました。